

## 会議の開催結果について

- 1 会議名 令和3年度第3回上尾市地域公共交通活性化協議会
- 2 会議日時 令和4年2月8日(火)  
午前10時00分から
- 3 開催場所 上尾市役所 7階 大会議室 (WEB併用)
- 4 会議の議題  
(1) 上尾市地域公共交通計画(案)について  
(2) バス停の移設について  
(3) その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 1人
- 8 問い合わせ先(担当課) 市民生活部交通防犯課  
電話: 048-775-5138 (直通)

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度第3回上尾市地域公共交通活性化協議会		
開催日時	令和4年2月8日(火)	開 会	午前・午後 10時00分
		閉 会	午前・午後 11時00分
開催場所	上尾市役所 7階 大会議室 (WEB 併用)		
議長(会長等)の氏名	西嶋 秋人		
出席者	委員氏名	(出席人数: 19人) ※会長を含めず 山科 和仁、田沼 健一、野口 佳一 (代理: 鈴木 義和)、 鈴木 貴大 (代理: 鈴木 秀忠)、山口 正史、関根 肇、 新井 昌行 (代理: 小林 純一)、 坂口 真一 (代理: 神宮 一雄)、 森越 透 (代理: 築井 功次郎)、市川 好夫、 刀根 正克、久保田 尚、小川 ゆかり、根岸 甚高、 立石 一弘 (代理: 甫仮 啓太)、向井 一哲、岡野 孝史、 石川 克美、長島 徹	
	説明者 その他		
	事務局	(出席人数: 5人) 黒田市民生活部次長、小川交通防犯課長、渡邊交通防犯課副主幹、佐藤交通防犯課主任、石塚交通防犯課主任	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分	(1) 上尾市地域公共交通計画 (案) について (2) バス停の移設について (3) その他		
配布資料	令和3年度第3回上尾市地域公共交通活性化協議会次第: 公開 議事1 上尾市地域公共交通計画 (案): 公開 議事2 バス停の移設について: 公開		
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録		
会議録署名の指定	会長及び会長が指名した委員1名が署名するものとする。		

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>《開会》</p> <p>《会議成立を報告》</p> <p>《西嶋会長に議長を依頼》</p> <p>《非公開情報の確認》</p> <p>《非公開情報はない旨回答》</p> <p>《会議公開に対する異議の確認》</p> <p>《異議なし》</p> <p>《会議の公開決定》</p> <p>《傍聴希望者の確認》</p> <p>《傍聴希望者は1名と回答》</p> <p>《傍聴希望者に入室してもらおう》</p> <p>《議事録署名人を市川委員に依頼》</p> <p>《市川委員に承認いただく》</p>
会長	<p>議事1</p> <p>「(1) 上尾市地域公共交通計画（案）について」</p>
事務局	<p>《議事（1）に基づき説明》</p>
会長	<p>《委員に意見を求める》</p>
市川委員	<p>「上尾市地域公共交通計画案に対する市民コメント要旨及び市の考え、方針等」の No. 18 に年間赤字と書いてありますが、これは一般会計からとのこと で、令和元年に1億3,500万円、2年度は1億5,500万円と記載されて おりますが、この考えで行くと毎年2,000万円くらい増えてしまう のではないかと思います。そこで書いてあるとおり、一般会計費の内、80% を国から補填されているということをご主張する必要があると思 います。そしてなるべく一般会計費を減らすことについて何か考えて おりますでしょうか。</p>
事務局	<p>市川委員のご指摘の通り、運行経費については毎年増加傾向、2,000万 円前後ずつ上昇している現状でございます。80%を国から補填されて いるとのことでございますが、これにつきましては、国の地方交付税の算定基礎 の一部として、バス事業の経費に対する積算の一つとしていた まっております。これが今まで80%の割合で積算の基礎としていたものでござ います。これはぐるっとくんに対しての特別財源ではなく一般財源の一部として入 ってくるという</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>ものでございまして、これが正確に、80%が補填されている数字なのかどうかの判断はできない状況です。また、さらに80%という数字は、昨年3月の国の法改正により、令和4年度から半減の40%の割合になるなど、今後変動を生じる恐れが十分にあるため、計画上に載せるというのは、将来継続した仕組みであるという確証がないものですから、ここでは特に明記はしないという回答をさせていただいたところです。</p>
市川委員	<p>難しいとは思いますが、一般会計費からの繰り出しを極力減らす考えがございましたらお教えいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>財政負担を極力減らすことは重要な検討課題と認識しております。経営的な視点で行っていることとしては、バス停のネーミングライツという取組がございまして、現在、4か所のバス停について企業の協力をいただきまして、バス停名称をネーミングライツとして使用しています。そちらは1か所につき年間12万円という形で行っています。それと合わせて、バスの車内広告、バス停への広告ということも仕組みとして構築しておりまして、そちらの広告の掲載につきましては、大きな金額ではございませんが、そのような形で少しでも財政負担を減らすように取り組んでおります。</p>
小林委員	<p>市民のコメントの中に、「デマンドタクシー」という言葉がかなり多く入っていて、以前の検討ではそれほど進んでいる考えがないのかなと感じ取れたところです。ですが、例えばこの中で、「市民ニーズを」という言葉が多く使われている中で、これだけの数の意見があったのもう少し踏み込んだ検討が出てきても良いのではないかと。例えば、計画案49ページの4-2について、タクシー車両の有効利用などがありますが、ここにデマンドタクシーの記述も入れても良いのではないかと。また、研究というように書かれているだけで、研究の成果を見せるか、一度整理をすとかというタイミングがあっても良いのではないかと思います。今スケジュールの中で、具体的な施策を考えているのは来年度編成だとかというところぐらいであって、バス路線だけでなく、違うことも考えながら進めていくのもあってもよいと思います。</p>
事務局	<p>1点目といたしまして、パブコメでデマンドタクシーについてのご意見をいただいていることで、49ページ施策の4-2のタクシー車両の有効活用の中に文言として入れても良いのではないかとということですが、この点については事務局としても、慎重に検討させていただいたところです。デマンド交通を実施している他市の状況を見ると、コミュニティバスの減便や路線を減らした上で導入するなど、上尾市の現状としては、バス路線網が市内に張り</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>巡らされていることから、デマンド交通を具体化していくとなると、公共交通の全体的な調整をしていかなければならないということがあります。これについては、バスを利用している人たちも大勢おり、その部分に与える影響が大きいので、今の上尾市の土壌とすると、デマンドタクシーの導入を具体的に計画に明記できる状況ではないというスタンスです。ただし、施策 4-2 に明記はしておりませんが、この施策の中で幅広くデマンド交通に関しても、引き続き研究を重ねていきます。ここにデマンド交通の導入について明記することは、デマンド交通に関して、一人歩きするようなことも考えられるので、大きな枠組みとして検討していきたいと考えています。</p> <p>2 点目の研究の成果を見据えていく必要があるのではないかとということについては、日ごろ調査研究ということではありますが、その辺りが具体的に示されていないことは深く反省しなければいけないと思います。その点に関しましては、この協議会を通じて、もしくは公共交通の周知を図っていくことが非常に重要であることと想着ていますので広報誌等の媒体なども活用しながら、良いことばかりでなく苦しい状況なども示していく必要があるものと考えています。当然、バス路線についてだけではなく、タクシー等も地域公共交通の一部ですので、タクシーの研究状況等も踏まえた形で示していくようにしていきたいと考えています。</p>
会長	<p>委員の皆様から頂いた貴重なご意見等にございまして、あらためて認識させていただきます。これで計画の策定ということで、年度末にこちらの計画をお示しさせていただければと思います。</p>
会長	<p>議事 2 「(2) バス停の移設について」</p>
事務局	<p>《議事 (2) に基づき説明》</p>
会長	<p>《委員に意見を求める》</p> <p>《意見なし》</p>
会長	<p>議事 3 「(3) その他」</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 点目として、事務局より市内循環バス「ぐるっとくん」の再編について報告させていただきます。ぐるっとくんは平成 28 年 2 月に現在の路線のベースとなる大幅な再編を実施し、それまでの 6 路線 69 便から 9 路線 96 便へと充実を図りました。しかしながら、再編後もぐるっとくんの増便、具体的には 1 時間に 1 本程度の運行を求める市民の声が多く寄せられている現状です。</p> <p>これまで、協議会で再編を検討するなかで、委員の皆様からは「路線変更を伴う再編には、生活リズムの変化などにより利用者減少など大きなリスクを伴う恐れがある。」「民間バス路線を運行する事業者を圧迫するような路線設定は避けるべきである。」「乗り継ぎを伴うような再編は、乗り継ぎ時間、バス停の環境、市民の理解が絶対条件である。」など、路線変更を伴う再編は検討には時間をかけて慎重に協議する必要があるというご意見をいただいているところです。</p> <p>新型コロナウイルス禍における利用者数の大幅な減少、新たな生活様式による今後の回復の見通しが不透明な状況ですが、コロナ禍前までは、年間 48 万人を超える方々に利用されていたという事実から、市の再編方針としては、既存路線での充実をどこまで図れるかに焦点を絞り、利便性の向上に向けて強力に検討してまいりたいと考えております。</p> <p>2 点目に、次回協議会は、令和 4 年度の開催を想定しておりますが、別途ご連絡申し上げます。</p> <p>報告は以上ですが、</p> <p>昨年の協議会でも新型コロナウイルスの影響について各事業者よりご報告いただきましたが、こちらの最新の状況について、理解を深めたいところですので、事業者・関係機関の皆様から、現状について情報をお持ちでしたら、ご意見・ご報告いただければと思います。</p>
山科委員	<p>新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、自粛の為、公共交通全体の利用者がかかり減少しており、運行本数の減便も考えましたが、密にならないように、運行本数を変更せずに運行を続けています。収入に関しましては、1 月から 10 月は、コロナ前に比べて 75% くらいを推移していました。11 月 12 月はコロナも落ち着いたということで 8 割まで戻りましたが、1 月 2 月とまた収入は右肩下がりが続いている状況です。乗り合いバスも市内循環バスも同じ状況です。</p> <p>また、濃厚接触がかかり増えており、社内でも自宅待機者が増えています。東武バスでは、まだ運休・減便などはしていませんが、地方や関東の大きなバス会社は運休減便を行っているところも多くあります。このまま濃厚接触</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
田沼委員	<p>者が増えると、減便やコロナ用ダイヤを運用せざるを得ない状況ですので、いままでのとおり感染対策をしっかりとやり、ダイヤは確保していきたいと考えています。</p> <p>東武バス様と同様、11月から12月の利用者は増えておりますが、1月から2月にかけて利用者は減少している状況で、7月、8月の状況に近づいています。運行本数は減らしておりませんが、今後の経営状況により減便の検討はしないといけないと考えています。</p> <p>当社では越谷市内において1路線だけですが4月に廃止するところがあります。できれば路線廃止ということはないようにしていきたいが、会社の維持ということを考えると厳しい現状があります。</p>
会長	<p>《副委員長・委員に協議全体への意見を求める》</p>
久保田委員	<p>事業者の皆様、ご報告ありがとうございます。全体を通して、事業者様からありましたとおり、デマンド交通・ぐるっとくんの再編に関しても、今の状況を脱してからでないとこの次どうするのかということは議論できないというのは、前提になると思います。</p> <p>また、デマンド交通についてですが、先ほど事務局から説明があったとおりだと思います。私も、県内外でデマンド交通の話を伺っていますが、基本的にデマンド交通は、定時定路線の乗り物では需給バランスが全く取れないような場所とか、自治体の形が大きいとか、形の上でどうしてもいきとどかない空白地域ができてしまうとか、そういった場所で行われているサービスと理解しています。しかし、なかなかうまくいっているところといていないところもあり、相当の研究をしてからでないと踏み込めないところがあります。</p> <p>特に上尾市の場合は、市の大きさ・形や民間バスなども踏まえ、かなり上手く進められていると考えており、デマンドの導入にはまだまだ研究を進めていく必要があります。今後、ぐるっとくんの経営がさらに難しくなった場合に検討するというスタンスでよろしいと思います。ぐるっとくんはコロナ前で収支率25%をキープしているということで、自治体のバスとしては優秀な方かと思います。現在の運行体系を抜本的に変えなければならない状況ではないという位置づけで良いと思います。</p>
事務局	<p>《閉会》</p>